



待ちに待った『夏』がやってきた イマリンビーチ 海開き

- 遊泳期間
8月28日(日)まで
- 遊泳時間
午前9時～午後5時



伊万里海洋少年団による手旗信号

7月3日、イマリンビーチの海開きがあり、海の安全祈願と式典を行いました。式典では、伊万里海洋少年団による手旗信号や、シーバード伊万里による海難事故の救助訓練が披露されました。続いて、たんぼぼ保育園と波多津保育園の園児たちが、海水浴での誓いの言葉を述べたあと、海めがけて一斉に砂浜をダッシュ。カサゴやエビの稚魚の放流も行われ、自然豊かな伊万里の夏の海を一番に楽しみました。



シーバード伊万里による救助訓練



初泳ぎを楽しむ園児たち



一斉に稚魚を放流



『みんな大きく育てね』



人のうごき

平成 28 年 7 月 1 日 現在

- 人口 56,027 人 (± 0)
- 男 26,893 人 (+ 11)
- 女 29,134 人 (- 11)
- 世帯 22,915 世帯 (+ 10)
- () は前月比

広報 伊万里 2016-8

- 発行日/平成 28 年 8 月 1 日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/株式会社三光

今月号は、例年になく多くの防災や震災に関する記事を掲載しました。先の熊本地震の発生で、災害を身近なものと感じ、多くの人が行動を起こした結果だと思えます。なかでも、市民グループ主催の震災関係の講演会や市防災講演会に参加した人は、今まで以上に親身に講師の話や聞かれたのではないのでしょうか。また、率先して被災地の介護施設や職員の支援に向かった『チーム伊万里』の皆さんの行動は、どれほど現地の人たちを勇気づけたことか。思い起こせば、最初の緊急速報メールを受けたのは広報伊万里5月号の作成中。作成用の大きなパソコン画面が揺れ、受信音に驚き、何もできずにただ動揺していただけでした。それから3か月以上経った今もなお多くの人が避難生活を送っています。それを思うと、何もない平凡な日々の生活がどんなにありがたいか、貴重なものか、あらためて思います。熱中症が心配される時期です。被災地と被災された皆さんの一日も早い復興をお祈りいたします。(公)

編集室から